



# WorkWithPlus

## リリースノート

バージョン:	8.1
更新日:	2015 年 07 月 16 日
互換性:	GeneXus X Evolution 2 U4以降、GeneXus X Evolution 3以降



# 目次

<b>新機能</b>	<b>5</b>
Webレスポンス	5
[Cell Width] プロパティ	5
[Visible] プロパティ	6
Webレスポンステーマ	7
Webレスポンスに合わせたプレビュー	7
[Base Web Form] プロパティ	8
[Web User Experience] プロパティ	9
グリッド内での編集	9
[Visible Condition]	10
[Is required extra condition]	10
フリー スタイル グリッドの新しいプロパティ	11
WorkWithPlusインスタンスの表示	12
オブジェクトのビルドと表示	14
外部オブジェクトに基づく変数の追加	15
WorkWithPlusにより生成されたGAM Webパネルの例	15
[Standard Action (ExportReport)] の最適化	16
イベントブロックの主キーリスト	16
アクショングループの複数行のアクション	17
列挙されたデスク립ションに基づく変数または項目属性のリンクの新しい検証	18
<b>修正済みの問題</b>	<b>19</b>
<b>WorkWithPlus 8.1 - P3</b>	<b>19</b>
主キーに関連するルールが常に追加される	19
DataSelectorを生成するフリー スタイル グリッドが機能しない	19
Viewでの [Address] ドメインの [Autolink]	19



Webパネルのフリー スタイル グリッドでの [Address] ドメインの [Autolink] .....	19
トランザクションのグリッドレベルでの項目属性のプレビュー .....	19
エクスポートオブジェクトの基本的なブール値の変数 .....	19
ColumnsSelectorグリッドに含まれる基本的な変数とエクスポートアクション .....	20
デスクリプション項目属性の削除時にエディターが再表示されない .....	20
画像タイプのデスクリプション項目属性 .....	20
タブのタイトル内の'&' .....	20
SDT、外部オブジェクト、またはBCに基づく非表示の変数.....	20
ツールチップと情報アイコンが表示されているBCまたはSDTの複数のエレメントに設定された [Help Text] ..	20
[Edit/ReadOnly Security Functionality Key] プロパティが非表示になる .....	21
BCまたはSDTの複数のエレメントに設定された [Right Text] .....	21
フィルタを消去しても範囲フィルタの値が消去されない .....	21
[Control info based on] プロパティとデータプロバイダーのプロパティ .....	21
ダイナミック コンボ ボックスの項目属性とリンク .....	21
Extra Selection、View、Promptの名前のスペース.....	21
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 18 .....</b>	<b>22</b>
WorkWithからWorkWithPlusへの変換 .....	22
GXオブジェクトのActionGroup内の複数行のアクションに関する問題 .....	22
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 19 .....</b>	<b>22</b>
WorkWithPlus 設定の復元 .....	22
モジュール内に生成されたListProgramsプロシージャータ ..... 23	23
Refresh After Popupプロパティ .....	23
モジュール内のトランザクションのコンテキスト .....	23
Rootモジュールに含まれないトランザクションの複数行の選択 .....	23
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 21 .....</b>	<b>23</b>
コミット時のGXserverの最適化 .....	23



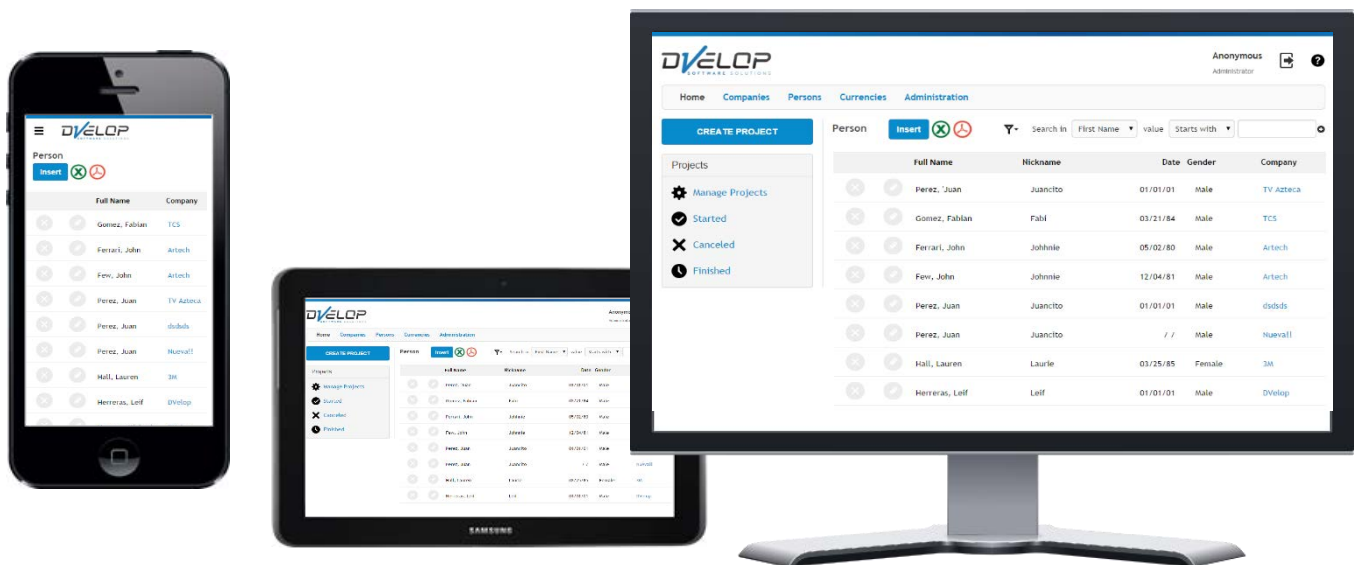
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 22</b>	<b>24</b>
レスポンシブWebページの詳細なセキュリティ設定	24
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 23</b>	<b>24</b>
GAMの軽微な問題	24
モジュールの視覚化の問題	24
拡張表示でのGXUIパネルの問題	24
複数行のフリースタイルグリッド	24
エクスポートオプションの問題	24
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 25</b>	<b>25</b>
Webコンポーネント内の必須ではないWebコンポーネントオブジェクトのプロパティ	25
ダイナミックコンボボックスのデータをデータプロバイダーからロードする	25
テンプレートで使用するタグ	25
Promptの複数行選択の問題	25
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 26</b>	<b>25</b>
条件の問題	26
<b>WorkWithPlus 8.1 - Preview 28</b>	<b>26</b>
変数用の条件付き表示機能をテンプレートに追加	26
Viewオブジェクトの条件付きタブの問題	26
Viewオブジェクトのグリッドタブのインライン編集	26

## 新機能

### Webレスポンス

Webレスポンスアプリケーションを生成する機能が追加されました。これは、WorkWithPlusで生成されたさまざまなWebパネルを、ブラウザの大きさに合わせて適応できるということを意味します。

次の図は、さまざまな大きさのブラウザ（スマートフォン、タブレット、およびラップトップ）でSelectionオブジェクトを表示した例です：



この機能をサポートするために、[Table] ノードに [Type] (RegularまたはResponsive) という名前の新しいプロパティが追加されました。Responsiveテーブル内のコントロールはすべて、一連の新しいプロパティ（ブラウザの大きさごとの [Visible] および [Cell Width]）を持ちます。

### [Cell Width] プロパティ

Responsiveタイプのテーブルに含まれるすべてのコントロールに、一連の新しい [Cell Width] プロパティが追加されました。プロパティは次のとおりです：

- Cell Width (Extra Small)
- Cell Width (Small)
- Cell Width (Medium)
- Cell Width (Large)

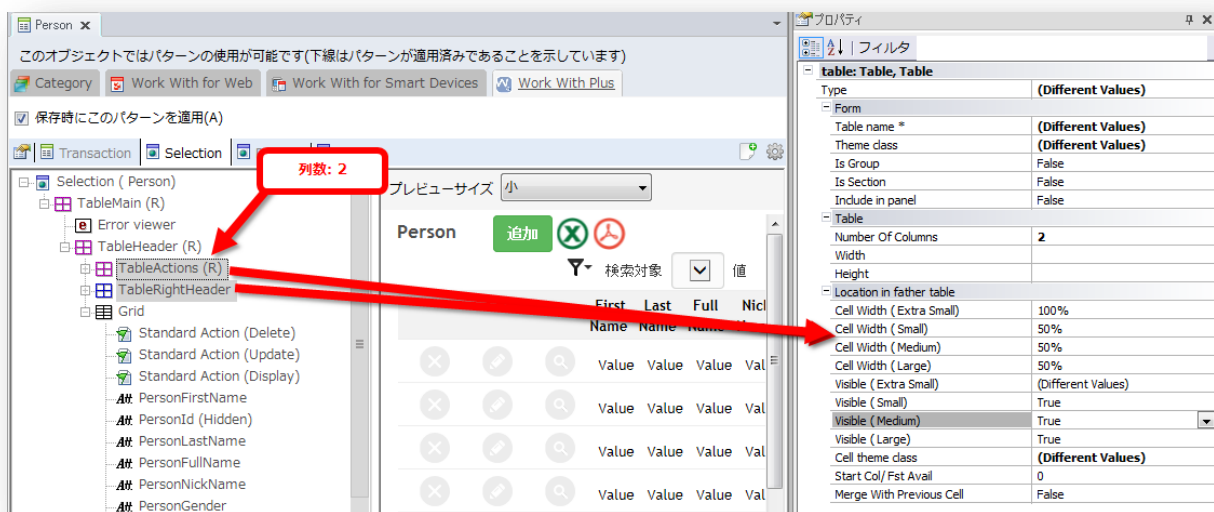
これらのプロパティでは、ブラウザの大きさに応じて、コントロールを表示するセルの幅を指定します。ここではBootstrapフレームワークで使用される値の一部を指定できます。

Bootstrapでは1つの行を最大12列に分割できるため、1つのコントロールで1/12列 (1/12\*100%) から12/12列 (100%) を占有できます。

設定できる値は次のとおりです:8%、17%、25%、33%、42%、50%、58%、67%、75%、83%、92%、および 100%。

これらのプロパティを使用して、ブラウザーが大きい場合は特定のコントロールの占有率を50%にしたり、ブラウザーが非常に小さい場合は占有率を100%に設定したりすることで、ページ内のコントロールを再編成できます。

テーブルのタイプがResponsiveでプロパティの列数を2に設定した場合、WorkWithPlusはテーブル内にあるすべてのノードでプロパティの [Cell Width (Small)], [Cell Width (Medium)], および [Cell Width (Large)] を自動的に50%に設定します。



## [Visible] プロパティ

Responsiveタイプのテーブルに含まれるすべてのコントロールに、一連の新しい [Visible] プロパティが追加されました。プロパティは次のとおりです:

- Visible (Extra Small)
- Visible (Small)
- Visible (Medium)
- Visible (Large)

これらのプロパティを使用して、ブラウザーが大きい場合は特定のコントロールを表示したり、ブラウザーが非常に小さい場合は非表示に設定したりできます。これらのプロパティではTrueまたはFalseの値を指定できます。

## Webレスポンスブテーマ

新規にナレッジベースを作成したときにインポートされるテーマが、Webレスポンスブなテーマに置き換わりました。

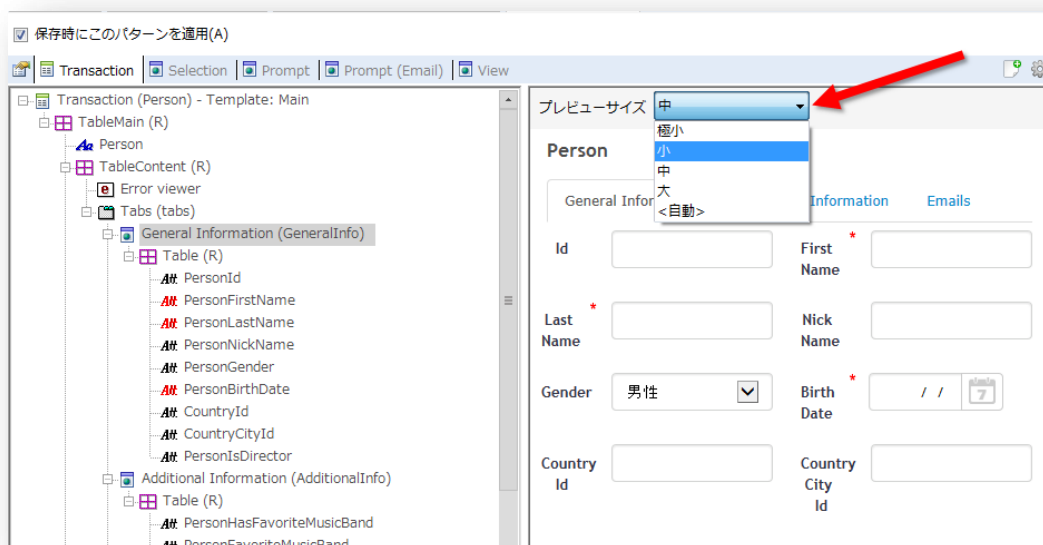
次のテーマを使用できます：

- Blue
- Red
- Orange
- Light Blue
- Green

これらの各テーマの例をオンラインで確認できます：[www.workwithplus.com/example](http://www.workwithplus.com/example)

## Webレスポンスブに合わせたプレビュー

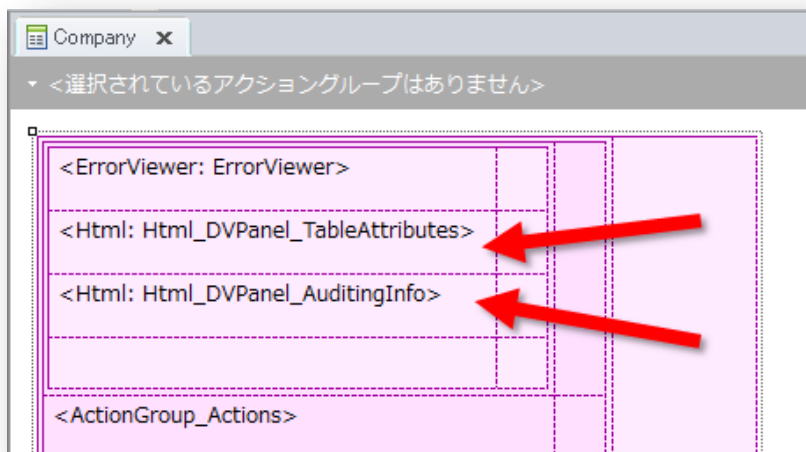
設計中のオブジェクトを開発者がさまざまな大きさにプレビューできるように、プレビューサイズのコンボボックスが追加されました。コンボボックスのオプションは次のとおりです：[ExtraSmall]、[Small]、[Medium]、[Large]、および [<Automatic>]。値を [<Automatic>] にすると、プレビューのサイズに応じて、オブジェクトの外観が実行時と同じように表示されます。



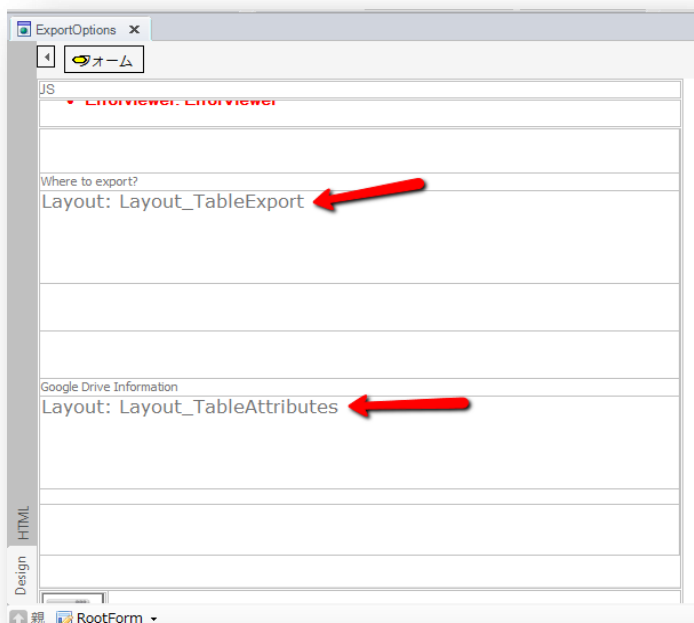
## [Base Web Form] プロパティ

WorkWithPlusで生成されるすべてのWebパネルに [Base Web Form] という名前の新しいプロパティが追加されました。このプロパティでは、WebフォームのベースがHTMLかAbstract Layoutかを定義します。フォーム内のテーブルのタイプに応じて、フォームにHTMLコントロールまたはLayoutコントロールが含まれる場合があります。このプロパティのオプションは次のとおりです:[Use model property]、[Abstract Layout]、または [HTML]。

例:[Base Web Form]:Abstract Layout (HTMLコントロールを含む)



例:[Base Web Form]:HTML (Layoutコントロールを含む)





## [Web User Experience] プロパティ


WorkWithPlusで生成されるすべてのWebパネルに [Web User Experience] という名前の新しいプロパティが追加されました。このプロパティでは、Webパネルのユーザーエクスペリエンスを [Smooth] にするか [Previous versions compatible] にするかを定義します。このプロパティのオプションは次のとおりです:[Use model property]、[Smooth]、または [Previous versions compatible]。

このプロパティはGeneXusのオブジェクトおよびモデルと同様のプロパティに関連しています。詳しくは次のリンクを参照してください。 [Web User Experience プロパティ](#)

## グリッド内での編集

グリッドオブジェクトのレコードをグリッド内で編集する機能が追加されました。エンドユーザーは、レコードを追加、更新、または削除するためにトランザクションを開く必要はありません。追加、更新、または削除のアクションのボタンを押すと、グリッドの対象レコードが編集可能になります。

### 新規レコード作成の例



The screenshot shows a web application interface for a 'Person' grid. At the top, there are icons for adding (green plus) and deleting (red minus) records. Below the grid, there are search filters: '検索対象' (Search Target) set to 'Full Name', '値' (Value) set to '前方一致' (Starts with), and an empty search input field. The grid has columns: Last Name, First Name, Gender, Hobby, Is Director, and an action column. The first row is highlighted with a light blue background, indicating it is the selected record for editing. The data in the grid is as follows:

Last Name	First Name	Gender	Hobby	Is Director	Action
Peterson	Johanne	女性	Go to cinema	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="button" value="✓"/>
Rodriguez	Juan	男性	Listen to music	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="✕"/>
Lopez	Maria	女性	Play cards	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="✕"/>

### レコード編集の例

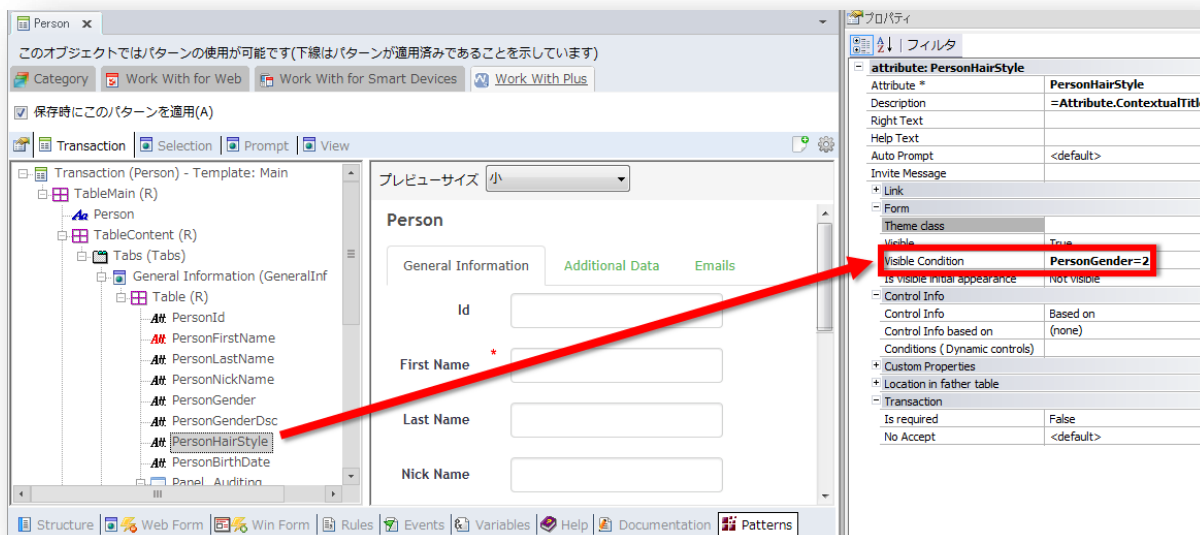


The screenshot shows the same 'Person' grid interface, but now the 'Rodriguez' record is highlighted with a light blue background, indicating it is the selected record for editing. The data in the grid is as follows:

Last Name	First Name	Gender	Hobby	Is Director	Action
Peterson	Johanne	女性	Go to cinema	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="✕"/>
Rodriguez	Juan	男性	Listen to music	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="button" value="✓"/>
Lopez	Maria	女性	Play cards	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="✕"/>
Carmen	Quenca	女性	Needle Work	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="✕"/>

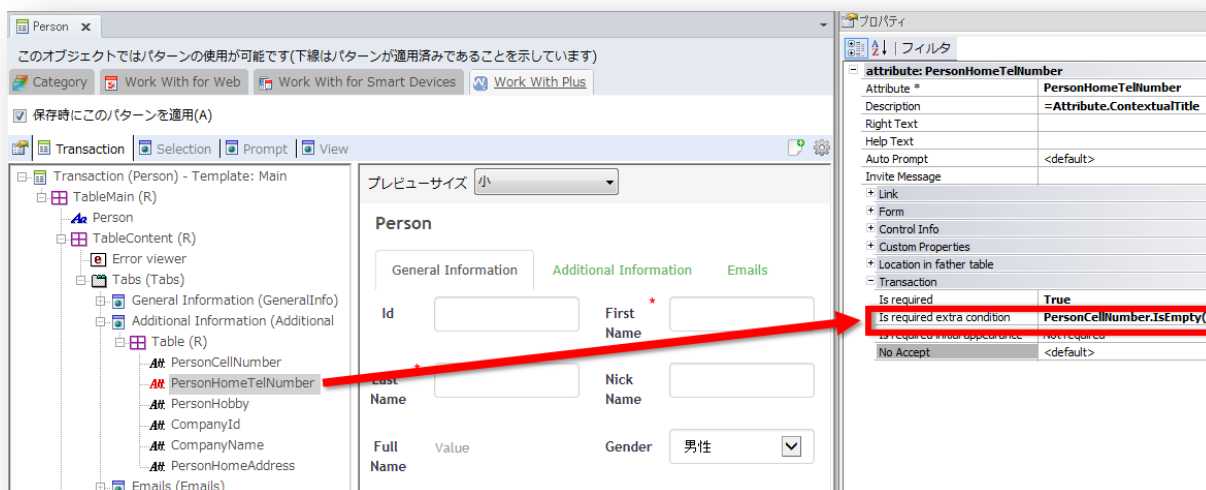
## [Visible Condition]

条件を満たした場合にのみ、項目属性または変数が表示されるようにするための条件を指定する機能が追加されました。条件を指定すると、その条件を満たしている場合にのみ、項目属性または変数が表示されます。



## [Is required extra condition]

項目属性を必須にするための条件を指定する機能が追加されました。ここでは、項目属性または変数を必須にするかどうかの条件を指定できます。このプロパティは、その項目属性または変数の [Is required] プロパティが True に設定されている場合にのみ使用できます。



## フリー スタイル グリッドの新しいプロパティ










フリー スタイル グリッドに一連の新しいプロパティが追加されました。グリッド内にある項目属性のデスクリプションをヘッダーに表示したり、縦のスクロールを可能にしたり、レコードを特定のスタイルで表示したり、複数行のグリッドを表示したりできます。

新しいプロパティは次のとおりです：











- Descriptions As Header
- Vertical Scroll
- Back Color Style
- Columns Width

これらの新しいプロパティを使用することで、次の図のようなグリッド、またはそれらを組み合わせたグリッドを作成できます：

### 縦のスクロールを持つグリッドの例

	Last Name	First Name	Nickname	Gender	Date
	Ferrari	Johnie	Johnnie	Male	01/01/81
	Lopez	Mary Anne	Mary	Female	02/02/82
	Mendez	Ana	Annie	Female	05/06/83
	Lauren	Michael	Mike	Male	09/09/83
	Hault	Sebastian	Seba	Male	05/11/84
	Herrera	Philippe	Phil	Male	09/16/90
	Spielberg	Nicolas	Nicolas	Male	05/04/86
	Richards	Keith	Rich	Male	09/18/84
	Waters	Roger	Rog	Male	09/13/87

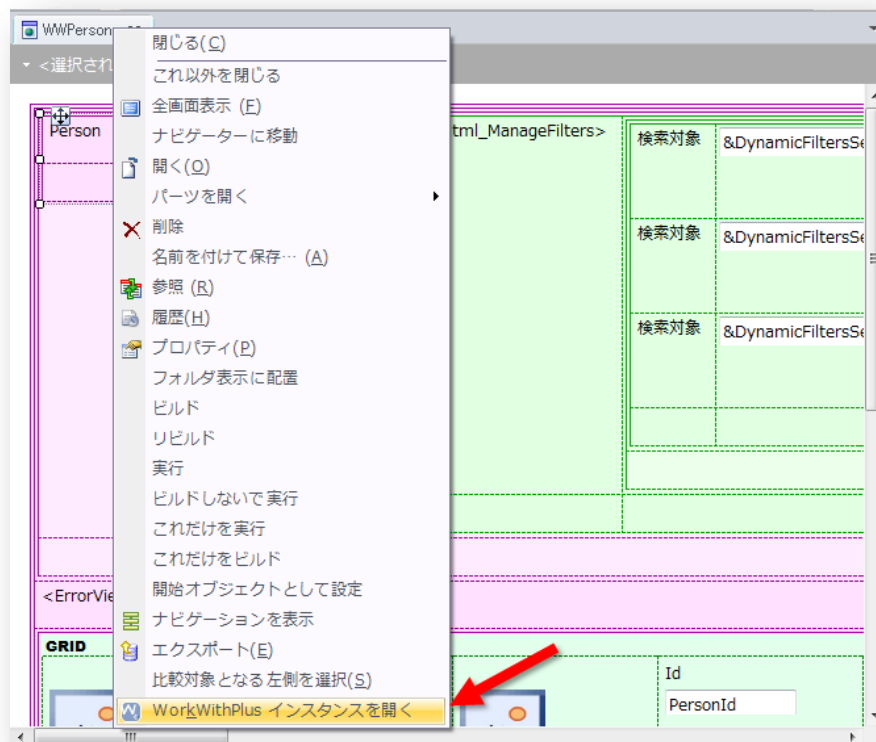
### 複数行のグリッドの例

	Last Name	First Name	Nickname	Gender	Date
	Ferrari	Johnie	Johnnie	Male	01/01/81
	Lopez	Mary Anne	Mary	Female	02/02/82
	Mendez	Ana	Annie	Female	05/06/83
	Lauren	Michael	Mike	Male	09/09/83
	Hault	Sebastian	Seba	Male	05/11/84
	Herrera	Philippe	Phil	Male	09/16/90
	Spielberg	Nicolas	Nicolas	Male	05/04/86
	Richards	Keith	Rich	Male	09/18/84
	Waters	Roger	Rog	Male	09/13/87
	Jones	Norah	Norita	Female	09/21/88

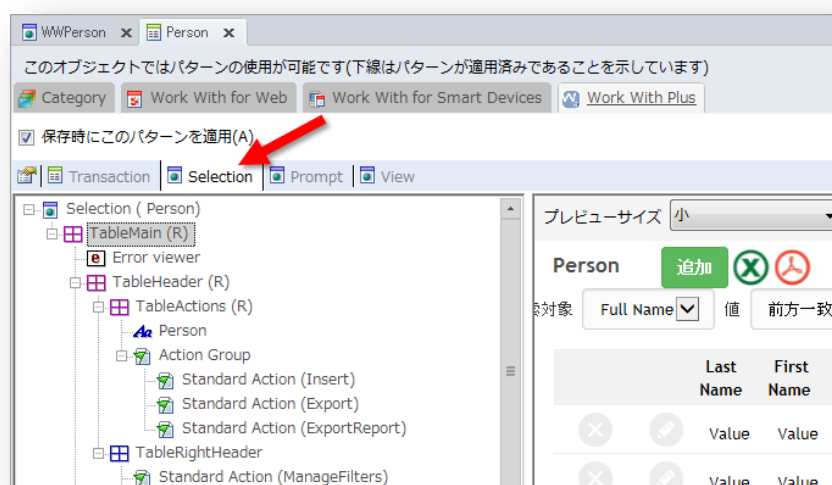
## WorkWithPlusインスタンスの表示

オブジェクトを生成したインスタンスを開くためのオプションが追加されました。オブジェクトを右クリックして [WorkWithPlus インスタンスを開く] を選択すると、関連するインスタンスのタブが開きます。

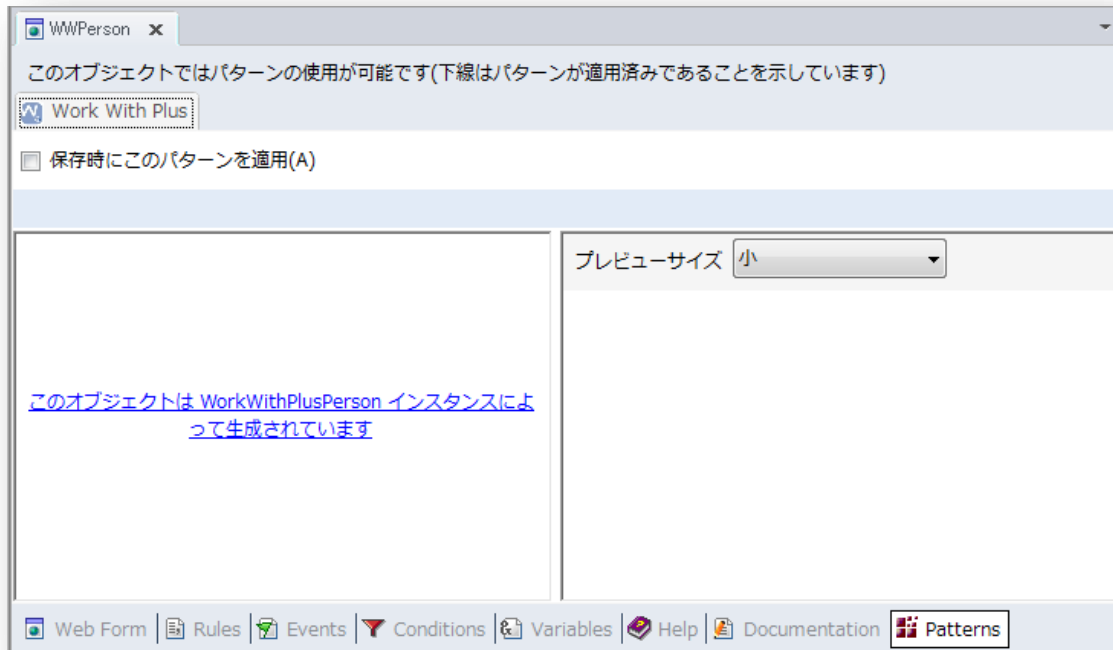
たとえば、WWPersonオブジェクトを右クリックします：



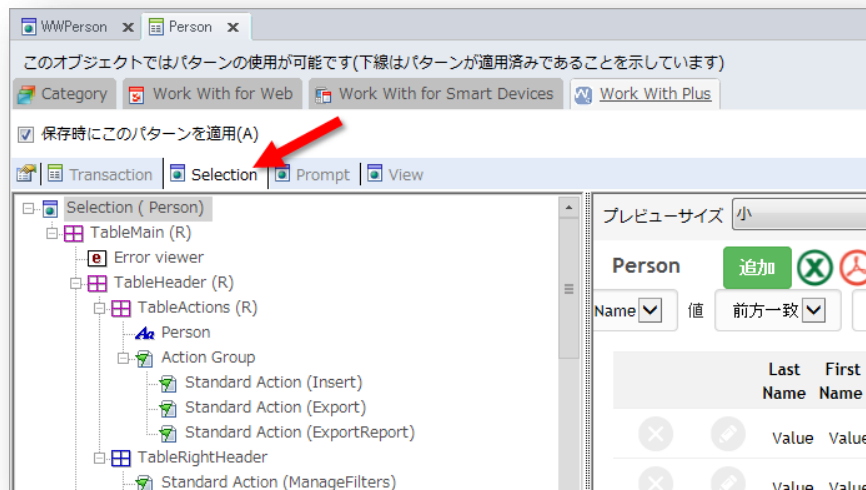
PersonトランザクションのインスタンスのSelectionオブジェクトが開きます：



この機能は、別のインスタンスによって作成されたオブジェクトの [Patterns] タブを開いたときも使用できます。たとえば、WWPersonで [Patterns] タブを開くと、そのインスタンスを開くリンクが表示されます:



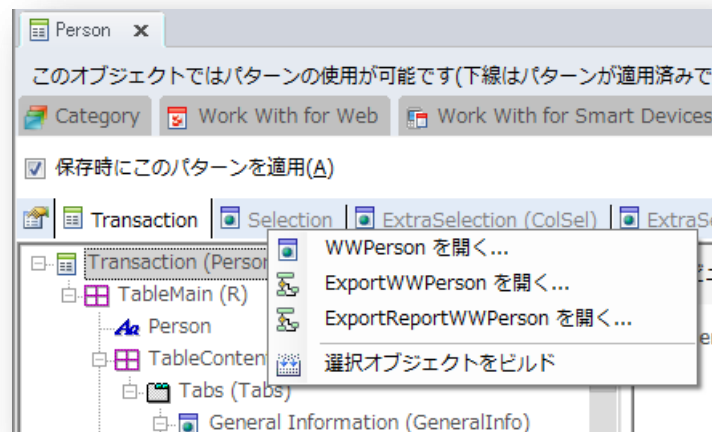
PersonトランザクションのインスタンスのSelectionオブジェクトが開きます:




## オブジェクトのビルドと表示

パターンに含まれるタブを右クリックすることで表示される、一連の新しいオプションが追加されました。

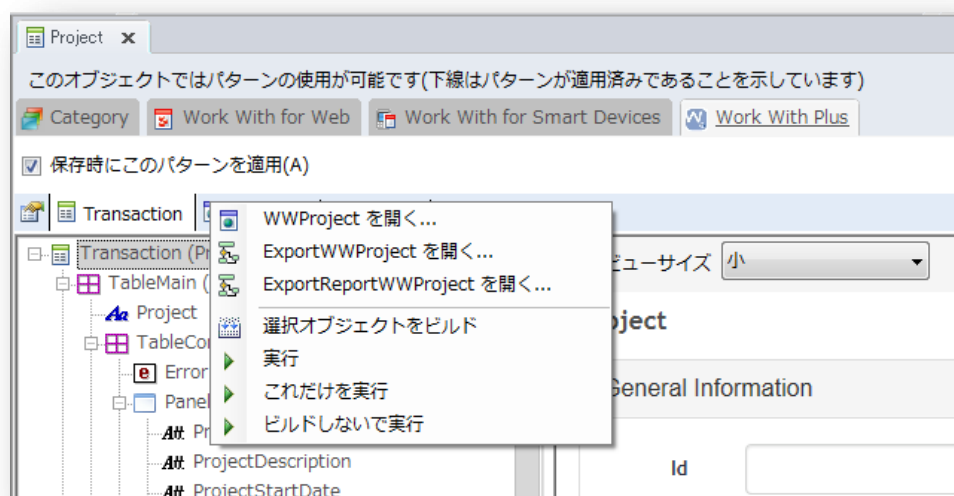
1. 生成されたオブジェクトがメインオブジェクトではない場合、次のオプションが表示されます:



この例では、[Selection] ノードがWWPerson Webパネル、ExportWWPerson (excel) プロシージャ、および ExportReportWWPerson (PDF) プロシージャを生成しています。したがって開くオブジェクトのオプションが3つ表示されます。

また、これらのオブジェクトだけをビルドするオプションがあります。これを実行するとWebパネルと2つのプロシージャがビルドされます。各インスタンスの  アイコン内には、インスタンスのすべてのオブジェクトをビルドするオプションがあります。

2. 生成されたオブジェクトがメインオブジェクトの場合、次のオプションが表示されます:



この例では、[Extra Selection] ノードがWWPersonEditInGrid Webパネル、ExportWWPersonEditInGrid (excel) プロシージャー、およびExportReportWWPersonEditInGrid (PDF) プロシージャーを生成しています。

したがって開くオブジェクトのオプションが3つ表示されます。

また、これらのオブジェクトだけをビルドするオプションがあります。これを実行するとWebパネルと2つのプロシージャーがビルドされます。

WWPersonEditInGrid Webパネルがメインオブジェクトであるため、次のオプションを使用できます：

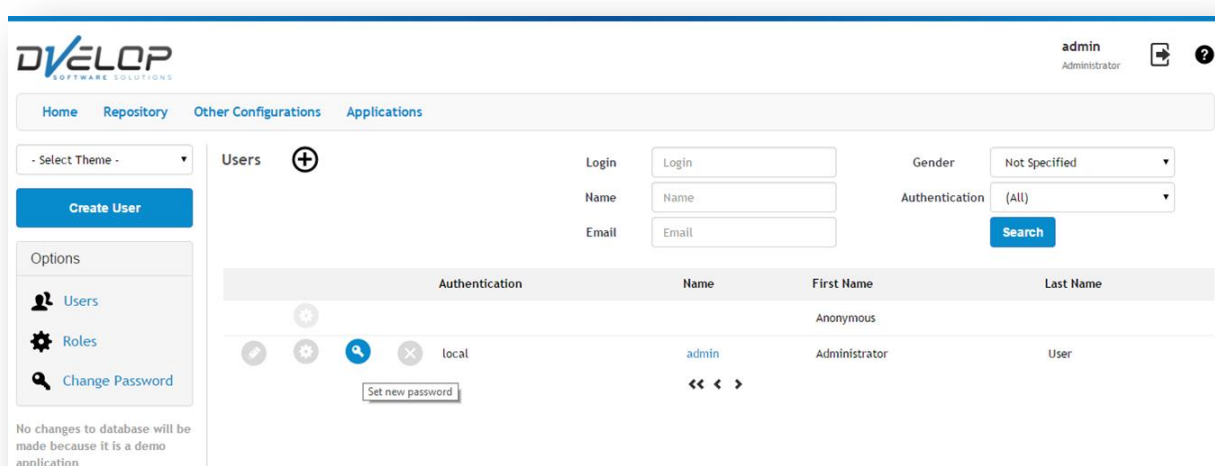
- 実行
- これだけを実行
- ビルドしないで実行 (Ev3のみ)

## 外部オブジェクトに基づく変数の追加

インスタンス内で、外部オブジェクトに基づいて変数を追加する機能が追加されました。これにより、WorkWithPlusインスタンスを右クリックして [追加] -> [VariableBasedOn] の順に選択し、外部オブジェクトを選択して、そのオブジェクトに基づいて変数を定義できます。

## WorkWithPlusにより生成されたGAM Webパネルの例

WorkWithPlusの新しいバージョンを使用してGAMセキュリティを選択すると、GAMセキュリティに関連するすべてのWebパネルがインポートされ、それらのWorkWithPlusインスタンスを使用して生成されます。そのため、アプリケーションのWebパネルはすべて同じ外観と操作感で統一されます。





## [Standard Action (ExportReport)] の最適化

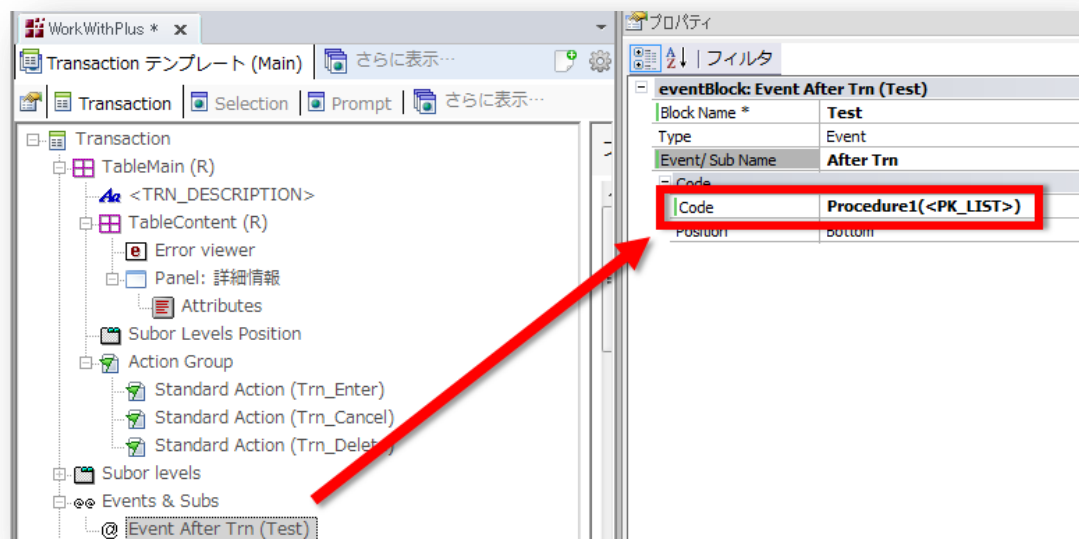
[Standard Action (ExportReport)] が最適化されました。これは、レポートがメインオブジェクトとして生成されなくなったためです。メインではないPDFの生成をサポートしているEv3のみに当てはまります。

## イベントブロックの主キーリスト

一連の新しいタグは、任意のトランザクションテンプレートに関連付けられたイベントブロックで使用できます。タグは次のとおりです：

- <PK\_LIST>: トランザクションの主キーに含まれるすべての項目属性を、コンマで区切って追加します。

たとえば、次のイベントブロックがある場合：

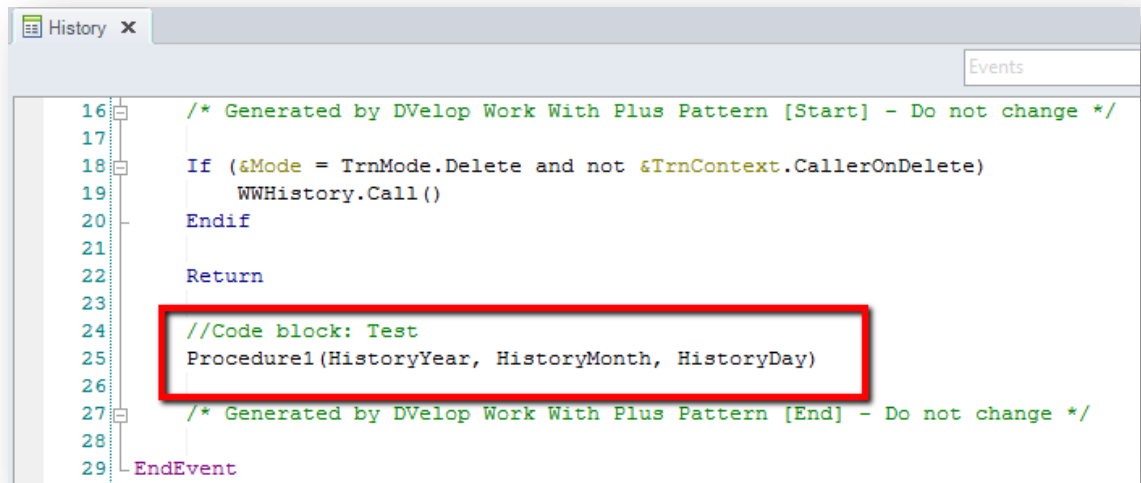


次のような構造を持つHistoryトランザクションのインスタンスを更新します：

名前	タイプ	Null 許容
History	History	
HistoryYear	Numeric(4.0)	No
HistoryMonth	Numeric(2.0)	No
HistoryDay	Numeric(2.0)	No
HistoryDescription	Description	No



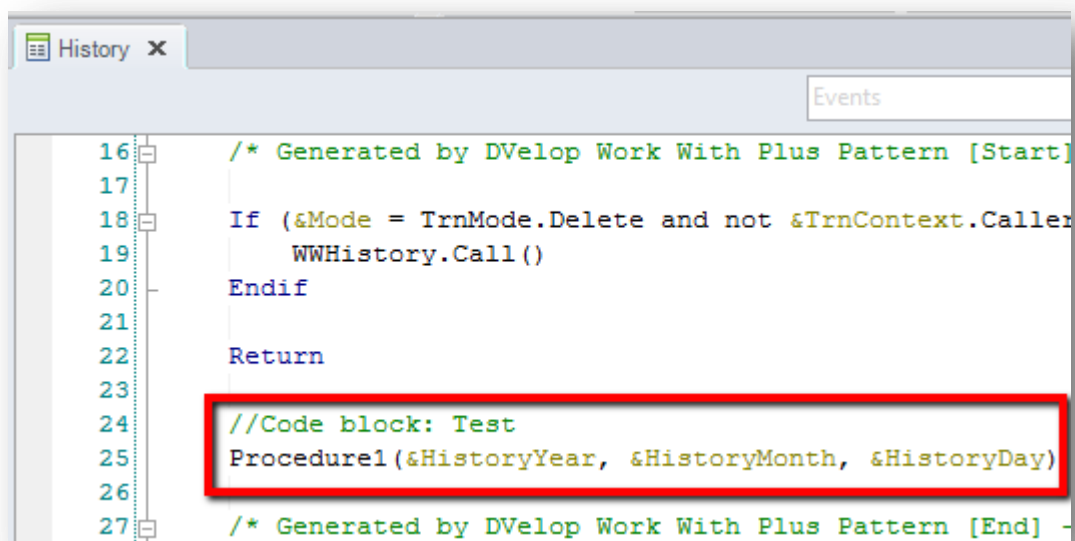
次のコードを追加します:



```
16  /* Generated by DVelop Work With Plus Pattern [Start] - Do not change */
17
18  If (&Mode = TrnMode.Delete and not &TrnContext.CallerOnDelete)
19      WWHistory.Call()
20  Endif
21
22  Return
23
24  //Code block: Test
25  Procedure1(HistoryYear, HistoryMonth, HistoryDay)
26
27  /* Generated by DVelop Work With Plus Pattern [End] - Do not change */
28
29  EndEvent
```

- <PK\_VAR\_LIST>: トランザクションの主キーに含まれる各項目属性の変数を、コンマで区切って追加します。

前述の例で <PK\_LIST> の代わりに <PK\_VAR\_LIST> を使用すると、History トランザクションで次のような結果を得られます:



```
16  /* Generated by DVelop Work With Plus Pattern [Start]
17
18  If (&Mode = TrnMode.Delete and not &TrnContext.Caller
19      WWHistory.Call()
20  Endif
21
22  Return
23
24  //Code block: Test
25  Procedure1(&HistoryYear, &HistoryMonth, &HistoryDay)
26
27  /* Generated by DVelop Work With Plus Pattern [End] -
```

## アクショングループの複数行のアクション

アクショングループに複数行のアクションを追加する機能が追加されました。



## 列挙されたデスクリプションに基づく変数または項目属性のリンクの新しい検証

列挙されたデスクリプションに基づく項目属性または変数に開発者がリンクを追加する場合の新しい検証機能が追加されました。この機能が追加されたのは、GeneXusがこのような項目属性や変数のリンクをサポートしていないためです。



## 修正済みの問題

### WorkWithPlus 8.1 - P3

#### 主キーに関連するルールが常に追加される

パラメーターで受け取った変数に主キー項目属性を割り当てるルールがすべてのシナリオで追加されていました。現在は、トランザクションの [Default Parm] プロパティがNoneで、主キーに含まれる項目属性がparmルールに含まれない場合は、この割り当てルールは追加されません。

#### DataSelectorを生成するフリー スタイル グリッドが機能しない

[Generate Data Selector] プロパティがTrueの場合にフリー スタイル グリッドがグリッドオブジェクト (Selection、Prompt、GridTab) に追加される際に発生していた問題が解決しました。この問題は、これらを組み合わせると正常に動作しないというものでした。

#### Viewでの [Address] ドメインの [Autolink]

[Address] ドメインに基づく項目属性または変数がViewオブジェクトに追加される際に発生していた問題が解決しました。この問題は、Googleマップ上にアドレスを表示する際に、WorkWithPlusがクリックイベントを追加できないというものでした。

#### Webパネルのフリー スタイル グリッドでの [Address] ドメインの [Autolink]

[Address] ドメインに基づく項目属性または変数がテンプレートに基づくWebパネルのフリー スタイル グリッドに追加される際に発生していた問題が解決しました。この問題は、Googleマップ上にアドレスを表示する際に、WorkWithPlusがクリックイベントを追加できないというものでした。

#### トランザクションのグリッドレベルでの項目属性のプレビュー

トランザクションのグリッドレベルにある項目属性が、プレビューでは読み取り専用で表示されていました。この問題が解決しました。

#### エクスポートオブジェクトの基本的なブール値の変数

ブール値として定義された基本的な変数がグリッドに追加され、Excelにエクスポートされる際に発生していた問題が解決しました。これは、開発者がインスタンスを保存する際にWorkWithPlusが次のエラーを表示するという問題でした: 「エラー:不明な機能'ToFormattedString'」



## ColumnsSelectorグリッドに含まれる基本的な変数とエクスポートアクション

ExcelにデータをエクスポートするオプションがColumnsSelectorグリッドを持つオブジェクトに含まれている場合に、グリッドに基本的な変数が追加された際に発生していた問題が解決しました。WorkWithPlusがオブジェクトを生成する際に、次のエラーが表示されるという問題でした:「オブジェクトのインスタンスにオブジェクトが設定されていません」

## デスクリプション項目属性の削除時にエディターが再表示されない

開発者がインスタンスのデスクリプション項目属性を削除する際に、エディターが自動で再表示されませんでした。この問題が解決しました。

## 画像タイプのデスクリプション項目属性

トランザクションのデスクリプション項目属性として画像項目属性がある場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、パターンインスタンスをトランザクションに適用しようとすると、画像に関連付けられたフィルタおよび順番を追加できないため、一連のエラーが表示されるというものでした。

## タブのタイトル内の'&'

タブコントロールのタブのタイトルに'&'コマンドを追加する際に発生していた問題が解決しました。この問題は、オブジェクトを保存する際にエラーが表示されるというものでした。新しいバージョンでは、タブのタイトルに'&'が含まれていないことの検証が行われます。

## SDT、外部オブジェクト、またはBCに基づく非表示の変数

[Visible] プロパティがFalseであるSDT、外部オブジェクト、またはビジネスコンポーネントに基づく変数を追加する際に発生していた問題が解決しました。この問題は、インスタンスを保存する際にエラーメッセージが表示されるというものでした。

## ツールチップと情報アイコンが表示されているBCまたはSDTの複数のエレメントに設定された [Help Text]

SDTまたはBCに基づく変数に複数のエレメントがあり、複数のエレメントに [Help Text] が定義されている場合に発生していた問題が解決しました。これは、情報アイコンにヘルプのテキストを表示するように設定されている場合にのみ発生していました。この問題は、変更を保存する際に次のエラーが表示されるというものでした:「エラー:'<BC名>\_InfoIcon' コントロール名が重複しています」



## [Edit/ReadOnly Security Functionality Key] プロパティが非表示になる

GAMによるセキュリティが有効になっている場合に、インスタンスに含まれるトランザクションオブジェクトの項目属性の [Edit/ReadOnly Security Functionality Key] プロパティが非表示になっていました。この問題が解決され、現在は、同様の条件でもこのプロパティが表示されるようになりました。

## BCまたはSDTの複数のエレメントに設定された [Right Text]

SDTまたはBCに基づく変数に複数のエレメントがあり、複数のエレメントに [Right Text] が定義されている場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、同じ名前のテーブルが常に作成され、次のエラーメッセージが表示されるというものでした：「エラー：'TableMerged<BC名>' コントロール名が重複しています」

## フィルタを消去しても範囲フィルタの値が消去されない

フィルタに範囲フィルタが含まれている場合に、[Clean Filters] オプションをクリックした際に発生した問題が解決しました。この問題は、範囲フィルタを構成する変数の1つが空にならないというものでした。

## [Control info based on] プロパティとデータプロバイダーのプロパティ

データプロバイダーから取得した情報を持つダイナミック コンボ ボックスに基づくコントロールの情報が変数に格納される際に発生していた問題が解決しました。この問題は、データプロバイダーに関連するプロパティが適切にコピーされないというものでした。

## ダイナミック コンボ ボックスの項目属性とリンク

[Control Info] プロパティの [Control Type] がDynamic Combo Boxである項目属性に対するリンクを追加する際に発生していた問題が解決しました。この問題は、インスタンスを保存する際にエラーが表示されるというものでした。現在は、ダイナミック コンボ ボックスの項目属性へのリンクを追加しようとする検証エラーが表示されるようになりました。これは、GeneXus がこのようなエレメントのリンクをサポートしていないためです。

## Extra Selection、View、Promptの名前のスペース

Extra Selection、View、およびPromptオブジェクトの名前にはスペースが許可されていませんが、これを検証できませんでした。そのため、インスタンスを保存する際にエラーが表示されていました。この問題が解決しました。



## WorkWithPlus 8.1 - Preview 18

### WorkWithからWorkWithPlusへの変換

WorkWithパターンからWorkWithPlusパターンへのインスタンスの変換時に発生していた問題が解決しました。この問題はエラーが表示され、処理が正しく完了しないというものでした。

### GXオブジェクトのActionGroup内の複数行のアクションに関する問題

[Multi Row Selection]をTrueにした状態でGXオブジェクトにアサインされているユーザーアクションがある場合に発生していた問題が解決しました。これは、ActionGroup内のアクションの場合のみ、オブジェクトを呼び出す&Rowパラメーターが追加されないという問題でした。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 19

### WorkWithPlus 設定の復元

WorkWithPlusがインストールされていない、あるいは古いバージョンのWorkWithPlusがインストールされているGeneXusで、WorkWithPlusが適用されているナレッジベースを開く際に発生していた問題を解決するために新しい機能が追加されました。これまでは開発者が該当のナレッジベースを開いた場合、GeneXusでWorkWithPlus 設定オブジェクト削除し、テーマを再度インポートする必要がありました。現在では、GeneXusでWorkWithPlus設定（WWP Configuration）を開くか、「ツール」>「WorkWithPlus」>「WorkWithPlus テーマをインポート」と選択すると、メッセージが表示され、削除されたオブジェクトを復元できるようになりました。



## モジュール内に生成されたListProgramsプロシージャ

ListProgramsプロシージャはPublicモジュール内にすべてのWWオブジェクトへのリンクを生成します。Privateモジュール内にいくつかのトランザクションがある場合、そのモジュール内に新しいListProgramsプロシージャを作成することができ、WorkWithPlusはそのプロシージャのモジュールに関連するすべてのリンクを追加します。その後、そのプロシージャの表示をPublicに設定すると、WorkWithPlusは（WWPBaseObjectsモジュールにある）メインのListPrograms内のPrivateモジュールにリンクを追加します。

## Refresh After Popupプロパティ

アクションがポップアップの場合、WorkWithPlusによってリフレッシュを追加するかどうかを定義するための新しいプロパティが追加されました。

## モジュール内のトランザクションのコンテキスト

複数のモジュールがある場合にトランザクションのコンテキストで発生していた問題が解決しました。この問題は、Viewオブジェクトに移動し、関連するレコードを作成した場合、外部キーがインスタンスを作成できないというものでした。

## Rootモジュールに含まれないトランザクションの複数行の選択

Selectionオブジェクトに複数行選択のアクションが含まれている場合、Root以外のモジュールにトランザクションがある場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、インスタンスを保存する際にエラーが表示されるというものでした。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 21

### コミット時のGXserverの最適化

GXserverへの変更のコミットを最適化することでコミット処理が高速化されました。この最適化はWorkWithPlusの適用時に、GXserverのオブジェクトを保存しないことを含んでいます。





## WorkWithPlus 8.1 - Preview 22

### レスポンシブWebページの詳細なセキュリティ設定

Webパネルのセキュリティの詳細設定がレスポンシブWebデザインに対応しました。これはEv3でレスポンシブWeb用のテーマを選択する場合にのみ適用されます。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 23

### GAMの軽微な問題

GAM Backendオブジェクトに関するいくつかの小さな問題が解決しました。そのうちの1つは、ユーザー情報を表示するリンクが適切な情報を表示しないという問題でした。

### モジュールの視覚化の問題

Privateモジュール内および1対Nの関係のほかのモジュール内のトランザクションで発生していた問題が解決しました。この問題はオブジェクトの指定時にGridTab内のStandardAction (Insert)が自動的に追加され、トランザクションがPrivateであるためにエラーが表示されるというものでした。

### 拡張表示でのGXUIパネルの問題

GXUIパネルを使用して、Viewオブジェクトのタイプをレスポンシブデザインではない拡張表示に変更した場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、エラーが表示され、View オブジェクトを保存できないというものでした。

### 複数行のフリースタイルグリッド

各レコードを分割して表示する行を追加するために、複数行のフリースタイルグリッドが改善されました。

### エクスポートオプションの問題

WorkWithPlus設定のテンプレートにあるAction Groupの[Type]プロパティを変更する際に発生していた問題が解決しました。この問題は、Save または Cancel ボタンを含むAction GroupのタイプとしてGX Action Groupを保持しなければならないとして、Webパネルのエクスポートオプションがエラーを返してしまうというものでした。





## WorkWithPlus 8.1 - Preview 25

### Webコンポーネント内の必須ではないWebコンポーネントオブジェクトのプロパティ

Webコンポーネントノードが改善され、Webコンポーネントオブジェクトは必須でなくなりました。

### ダイナミックコンボボックスのデータをデータプロバイダーからロードする

ダイナミックコンボボックスのデータをデータプロバイダーからロードするプロパティが項目属性と変数に追加されました。

### テンプレートで使用するタグ

このタグはテンプレートのEventBlock内で使用することができます。Transactionテンプレートには次の2つのタグが追加されました：

<FIRST\_EDITABLE\_ATTRIBUTE>: 主キーの一部である最初の項目属性に使用します。

<FIRST\_EDITABLE\_ATTRIBUTE>: 主キーの一部ではない最初の項目属性に使用します。

加えて、Selection テンプレートで使用される次のタグが追加されました：

<FIRST\_FILTER>:最初のフィルタ変数に使用します。

### Promptの複数行選択の問題

PromptオブジェクトでUser Actionの[Multi Row Selection]プロパティをTrueに設定した際に発生していた問題をPromptオブジェクトには適用されないよう、このプロパティを隠すことで修正しました（このプロパティは Selection オブジェクトにのみ適用されます）。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 26



## 条件の問題

最後に";"を付けて条件を追加した場合に発生していた問題が解決しました。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 28

### 変数用の条件付き表示機能をテンプレートに追加

変数の表示／非表示を指定する条件定義機能がテンプレート（トランザクションおよびWebパネル）に追加されました。

### Viewオブジェクトの条件付きタブの問題

Viewオブジェクト内のタブに条件が定義された場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、条件を満たしていない場合、タブが非表示にならないというものでした。

### Viewオブジェクトのグリッドタブのインライン編集

View オブジェクトの GridTabで[In Line]プロパティをTrueに設定した場合に発生していた問題が解決しました。この問題は、GridTab内のグリッドに新規項目を追加(StandardAction (Insert))した場合に、Webコンポーネント（該当のトランザクションの外部キー）で受け取った項目属性を割り当てられないというものでした。

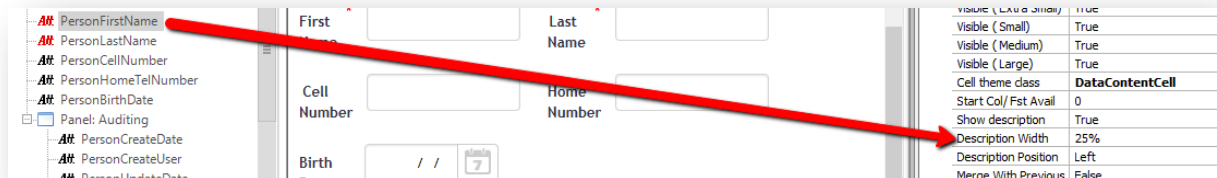
## WorkWithPlus 8.1 - Preview 29

### Right Textプロパティ、Visible Conditionプロパティが設定された項目属性と別の項目とのマージについて

[Right Text]プロパティおよび[Visible Condition]プロパティが設定された項目属性に任意の項目（項目属性、画像、アクションなど）をマージする際に発生していた問題が解決しました。これは、パターンを適用するとそのオブジェクトが保存されずに、エラーメッセージが表示されるという問題でした。

## 項目属性/変数のデスクリプションの幅

[Description Cell Width] という名前の新しいプロパティが追加されました。このプロパティは項目属性または変数のデスクリプションの幅を定義します。既定では、その項目属性の幅の合計値に対して、25%がデスクリプションの幅として定義されます。これは、長いデスクリプションあるいは、異なる幅で項目属性を配置したい場合に役立ちます。



## Visible Condition プロパティ、Is visible initial appearance プロパティが設定された項目属性と別の項目とのマージについて

[Visible Condition]プロパティおよび[Is visible initial appearance]プロパティが設定された項目属性に任意の項目（項目属性、画像、アクションなど）をマージする際に発生していた問題が解決しました。これは、パターンを適用するとそのオブジェクトが保存されずに、エラーメッセージが表示されるという問題でした。

## WorkWithPlus 8.1 - Preview 32

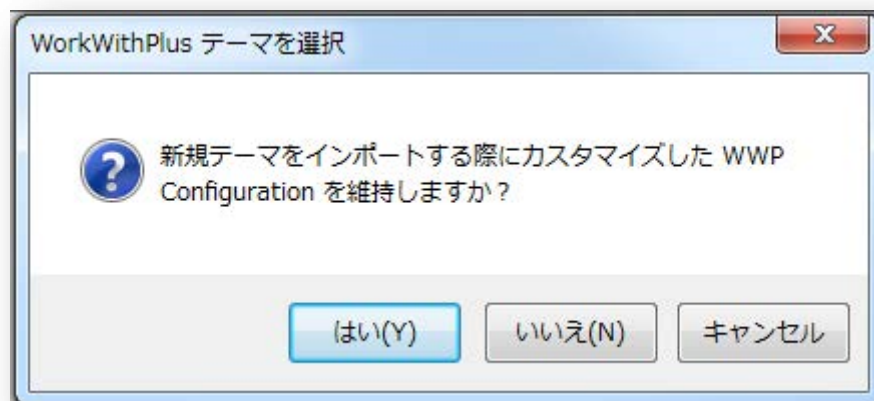
### テーマインポート時の設定の維持

追加された新しいテーマをインポートする際に、WorkWithPlus 設定(WWP Configuration) でカスタマイズしたテーマを維持することができます。維持可能なプロパティ/設定は、テーマの外観に影響を与えないものとなります。

次が維持されます：

- [Labels]ノード内のすべてのプロパティ
- Selection の生成、View の生成、Prompt の生成
- 各種フィルタの構成(文字列、数値など)
- 新しいテーマの外観に影響しない項目

新しいテーマをインストールする際、以前の設定を維持するかどうかを確認するメッセージが表示されます：



**重要：**バージョン 8.1 では、レスポンシブ Web デザイン (RWD) に対応した新しいテンプレートが、テーマ追加時に、既存のMainテンプレートと置き換えられる形で提供されます。RWDに対応するには、新テンプレートや新インスタンスにこれまで構成してきた内容を、反映し直す必要があります。詳しくは別紙の「**WorkWithPlus 8.1へのアップグレードについて**」を参照してください。